

成熟した岡山市中央卸売市場戦略的経営展望について（概略）

経営展望策定の目的

卸売市場を取り巻く環境が大きく変化してきている中、平成22年10月26日に農林水産省公表の第9次卸売市場整備基本方針（以下「第9次方針」という。）では、「開設者及び市場関係業者が一体となって、卸売市場全体の経営戦略的な視点から、それぞれの卸売市場の位置付け・役割、機能強化の方向、将来の需要・供給予測を踏まえた市場施設の整備、コストも含めた市場運営のあり方等を明確にし、経営展望を策定するなど、卸売市場としての経営戦略を確立する。（略）」という方向性が示された。

当市場としても平成19年度策定の長期プラン素案で示した「市場の将来像」の実現に向けて中長期の具体的な戦略を策定する必要があり、第9次方針を受けて創設された平成23年度農林水産省事業「中央卸売市場戦略的経営展望策定支援事業」の補助を受けて、戦略的経営展望の策定を図ることとした。

本経営展望は当市場が今後の消費者ニーズに応えうる施設・設備や運営体制の最適化により、地域の食を支える存在として、独立採算で安定的に経営を維持できるよう、戦略的で実効性のある経営計画を立案することを目的とする。

なお、策定にあたっては、開設者及び市場関係業者、学識経験者からなる協議会を設立し、さらに青果部・水産物部の部会形式でそれぞれ専門的な検討を行った。

岡山市中央卸売市場が目指す目標像(3本の柱)と要求機能

目標像

1

市民・県民の食を支える拠点市場

岡山市民・県民に安定的に食を供給する責務のある市場として、品質管理や災害対応をしっかりと進めその基盤を整えるとともに、超高齢時代における卸売市場の公共的役割を強化するものとして、生活者に密着した多角的な消費支援を行なう市場を目指す。また、岡山市中央卸売市場が環境への負荷低減に取り組みなど新たな価値形成への対応を進め、消費者により信頼される市場づくりを進める。

<要求機能>

- 安定的な食の供給
- 地域の豊かな食材・食文化の提供・普及
- 防災対応
- 環境問題への対応

目標像

2

中国地方東部の物流を支える拠点市場

地域内外の生産者や地方市場との連携強化により、岡山県内の生鮮食品流通の拠点としての機能を強化する。また、県外の広域的な市場間連携や県外小売業者等との連携により中国地方東部における食品流通拠点化を図ることで、取扱量の拡大を目指す。

<要求機能>

- 流通圏広域化に伴う大量受入れ・大量出荷に対応する市場機能の強化
- 広域流通のためのしくみづくり
- 新たな物流・商流・賑わいの核となる市場づくり（※ 青果のみ）

目標像

3

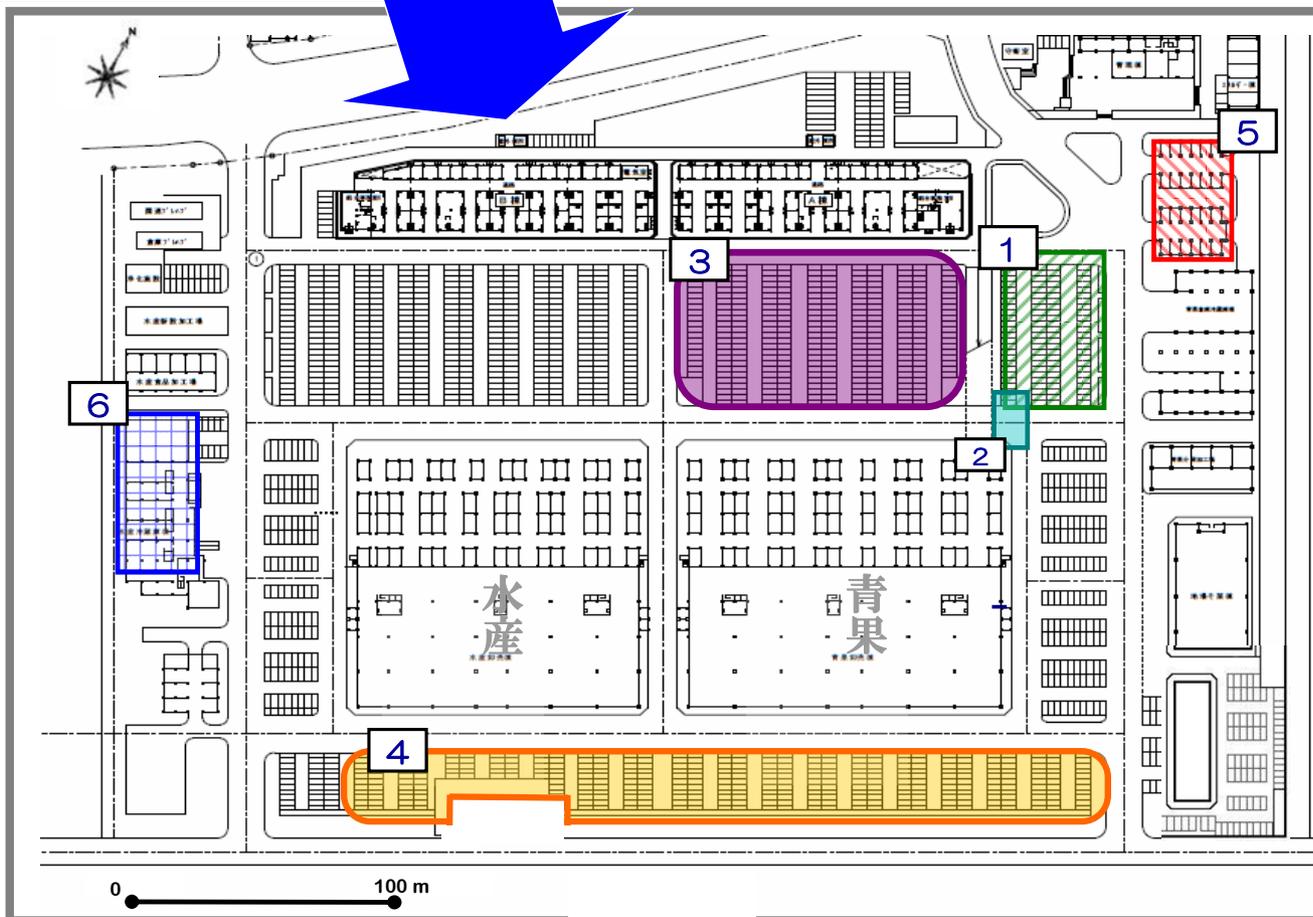
農業・漁業を支える拠点市場

地域の食を支える基盤である地域の農業・漁業を支えるために、消費の促進や新たな販路開拓などにより産地を支援する。また、生産者との連携により、岡山市中央卸売市場のブランド化、及び、地域ブランド製品の開発を進め、海外市場も視野に入れた競争力のある高付加価値な食品の流通を目指す。

<要求機能>

- 安定需要の確保
- 商品の付加価値向上

市場機能を強化するための施設整備プラン(荷捌き・駐車場・屋根・バナナ加工場・水産冷蔵庫)



〔整備計画の概要〕

	No.	内容
立体駐車場	1	立体駐車場 (1階が荷捌場)
	2	立体駐車場と青果棟をつなぐ連絡橋
屋根	3	現況駐車場に屋根
	4	現況駐車場に屋根
バナナ	5	バナナ加工設備の改修
冷蔵庫	6	水産冷蔵庫設備の改修

※ なお、立体駐車場・屋根の面積については、実態調査を行った上で確定する。